

えひめこどもの城での健康相談について

愛媛県小児科医会理事

児玉義史
(児玉小児科)

愛媛県小児科医会からの派遣という形で、毎月1回、えひめこどもの城での「お子様の身体の専門相談」(健康相談)を行っています。この相談事業について纏めてみましたので、報告致します。

1) 開始の時期と経緯

えひめこどもの城の開園は1998年(平成10年)ですが、小児科医による「身体の専門相談」は平成11年度から始まっています。そのいきさつを少し説明しますと、当時県小児科医会で年1回行っていた「小児科1日相談ダイヤル」の広報ポスターを園内に貼らせて頂くよう、私(児玉)がこどもの城の事務局に頼みに行ったことがきっかけになり、県小児科医会宛に、この相談事業への小児科医派遣の依頼が来ました。当時の徳丸会長と私(総務部主任理事)とで相談し、会としてこれを引き受け、皆で(会員全体で、或いは理事全員で、または有志で)交代制にして出務する方向で小児科医会理事会に諮ることになりました。しかし、当日の理事会の席上では出務に消極的、と言うより、これ以上小児科医の負担を増やすことに反対する意見が大勢を占め、已む無く、徳丸会長の指示のもと、私一人で毎月出務することになりました。

2) 実施の日程・報酬等について

原則、月1回、第3日曜日の午後1時～3時の2時間で行っております。但し、交代なしの私一人での仕事ですので、都合によっては他の日曜日や祝日に変更することもあり、また、どうしても都合がつかない月はお休みにすることもあります。

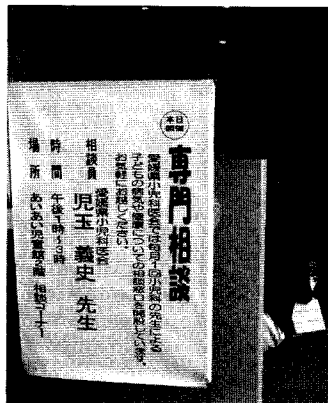
報酬(謝礼)の額については、記憶が曖昧なのですが、当初1回1万円位だったように思います。しかし、開始後2～3年目に、県の財政難を理由に無報酬となりました。

その後、平成18年度より、えひめこどもの城は指定管理者制度による運営に移行し、現在「イヨテツケータサービス」が運営しています。依然として無報酬ですが、交通費として1回ごとに510円が支給されるようになりました。

3) 相談の実際

先ず、私自身が、相談を受ける際に決めていることを記します。

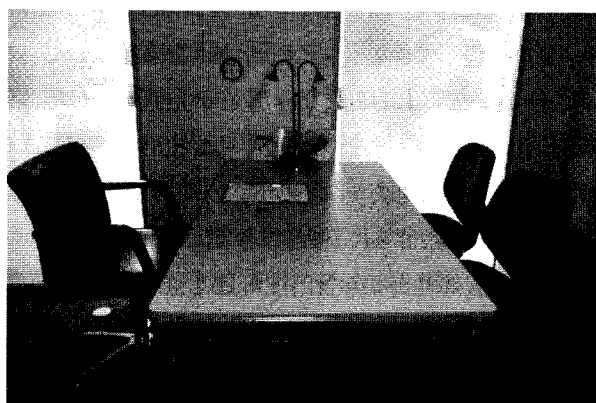
- ①母親・養育者を責めない。明らかに養育法の誤りがあると思われる場合は自分で気付かせる方向でお話をする。



園内ポスター



相談室入口



相談室内部

憶では、最初の7年間とその後の約7年間（現在まで）を比較すると、当初はかなり相談者も多かったのが、現在は大分落ち着いているように感じます。と言っても、どんどん減り続けている訳でもなく、一定数のニーズは引き続きあると思われます。

記録が残っている平成18年度以降、24年度までの7年間の出務回数は計78回（平均11.1回/年）でした。相談回数は計252回（出務1回につき3.2回の相談）でした。また、相談件数は304件でした。少ないようにも見えますが、1回の相談につき通常20～30分程度の時間を掛けておりますので、そこそこ退屈しない程度の数だったと感じております。ここで、相談回数と相談件数という言葉を使っておりますが、1回の相談で1名乃至2名の子どものに関する複数の相談事があったとすると、相談回数は1回と数え、相談件数についてはその実数を数えて集計しております。（例：長女のおねしょとぜんそく、及び長男のどもりの件で相談をされたとすると、相談回数1回、相談件数3件、うち男児1件と女児2件、として集計しています。）

以上のような方法で集計した結果を表1に示します。また、相談者の内訳（子どもとの続柄）とその居住地を表2・3に示します。母親が一人で、というケースが一番多く、次いで父母二人で、という順になっています。居住地は松山を含む中予が全体の75%を占めています。

母	父	父母	祖母	その他
187	13	42	2	母と祖母2 祖父母4 本人2

表2 相談者の内訳（児との続柄）（N=252）

松山	中予	東予	南予	県外	不明
169	20	28	10	13	12

表3 相談者の居住地（N = 252）

表1の説明に戻りますが、相談の対象になった児の性別は男児142件、女児162件と、有意差はないと思われます。年齢別に見ると（表4）、各年齢層に分布していますが、0歳～1歳が比較的多いようにも見えます。相談

内容の分類別集計（表5）を見ると、病気に関する相談が一番多く、育児、睡眠・排泄（夜尿・遺糞等）、癪・習慣（チック等）も多いようです。精神・人間関係は過去の電話相談の場合と同じく少な目でした。予防接種に関する相談が極めて少ないのは意外でした。

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳以上	合計
件数	50	57	34	34	27	39	63	304

表4 児の年齢

疾患一般	94
アレルギー	32
身体発育	22
発達遅延・発達障害	13
他科疾患	21
育児一般	29
食事関連	12
睡眠・排泄	35
癪・習慣	34
精神・人間関係	5
予防接種	3
その他	4
合計	304

表5 相談内容の分類別集計

以上、集計表を大雑把に眺めてみました。或る時代の或る地方での子どもの健康相談の記録として見て頂ければと思います。

5) 当相談事業の評価と今後について

果たしてこの健康相談が世の中の役に立っているのか、ということを考えますと、満足度調査などの客観的評価を行っていないので断言はし難いのですが、私自身の感触では、「相談したことで安心が得られた」、或いは「今後の方針を決めるのに参考になった」、などのポジティブな感想を聞けたことが多いように思います。

今後も、県小児科医会から派遣して頂ける限り、また、私の体力・気力が続く限り、この健康相談は続けていきたいと思っております。